

特定非営利活動法人

さわやか北摂つうしん

編集発行:さわやか北摂広報部 川西市水明台 1-2-49 TEL 072-792-3532

新しい道を切り開く

多くの人の命を奪い、たくさんの住宅を壊した阪神・淡路大震災から24年経ちました。先月17日は早朝から各地で追悼行事があり、街は祈りに包まれていました。新聞報道によると、被災者の生活再建などを支えた阪神・淡路大震災復興基金が、あと2年で残高が底をつく見込みのため、2020年度で終了する見通しとのことです。多くの問題を残しながら。

さわやか北摂は、阪神・淡路大震災があった年の7月に生まれました。企業や行政に頼らず、自分たちの力で「困った時はお互いさま」の精神にて、たすけあい活動などの社会貢献活動を日々積み重ねてきました。その温かいふれあいを通じ、「人と人との心のつながり」を創り上げてきました。おかげさまで、お金では買えない、人のまごころと愛情をたっぷりいただきました。

昨年12月に新しい、NPO法人さわやか千の^{せん}を立ち上げました。今年4月にさわやか北摂から、たすけあい事業などの社会貢献活動の部門が移行します。そして2年後に認定NPO法人となれることを目指しています。認定NPO法人になれば、社会的信頼が増し、色々な組織・団体と連携しやすくなります。また、寄付していただいた方には税制上の優遇があるので、寄付金を集めやすくなり、財政基盤の強化が計れることでしょう。しかし、それまでの道のりには大変な努力が課せられます。この課題が達成できれば、単独では運営が難しかった助け合い活動などの社会貢献活動を、長く継続させていけるものと思います。

今年の7月から創設25年目を迎えます。地域の人に支えられ、見守られながら活動を続けてきましたが、平成も終わろうとしている今、世の中は目まぐるしく変化しています。超高齢化そして人口減社会へ向かう日本には、前例のないさまざまな課題が待ち受けています。10年20年後の未来に向けて今から取り組み、立ち向かっていかなければなりません。

我々NPOの強みは、先駆性と柔軟性にあります。

創設者が貫いてきた、人にとって最も大切な「心」を軸に、世の中の課題に対し、絶え間なく創造し、新しい道を切り開いていかなければなりません。

本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(代表理事 高田 憲二)



則久 昭代 画

今回よりカラー印刷に変わりました！

認定NPO法人を目指して

さわやか北摂は2019年4月から
以下の通りとなります

■NPO法人さわやか千の里

2年後の「認定NPO法人」を目指します

2019年4月より本格稼働

- ・ たすけあい
- ・ 福祉有償運送
- ・ 居場所
- ・ 社会貢献

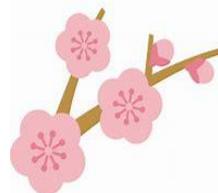
■NPO法人さわやか北摂

今までと変わりありません

- ・ 障害福祉
- ・ 通所介護
- ・ 訪問介護

●●● NPO法人さわやか千の里とは ●●●

今年4月1日から左図のように公的なサービス以外の「たすけあい活動」と福祉有償運送・居場所・社会貢献活動の部門が「NPO法人さわやか千の里」に移行します。さわやか北摂で主軸としてやってきた助け合い部門を独立させた団体です。正式に認定を受けるには尚2年近くかかります。移行されてもご利用の皆様には今まで通りで何も変わりません。



さわやか北摂 臨時理事会を開催

平成30年12月19日(水)に、さわやか北摂事務所2階にて、臨時理事会が開催された。新設のNPO法人さわやか千の里の現状報告や、超高齢化・人口減社会に向けた今後の取り組みについて議論された。議長を務める高田氏より、いくつになっても、だれもが自由に外出できる街づくりにするために、今から取り組んでいかなければならない等の意見があり、今後その方向性を吟味していく。

理事会風景



さわやか千の里の由来

千は多くの方々のお力でいつまでも続くように。里は地域に根ざした居場所となるように、の意味が込められています。

一人暮らしの方の終活のご相談にもおのれるよう、法務関係者を中心にした応援団もできる予定ですので、次号で詳しくご説明致します。

★★ 4月からチケット制が変わります ★★

4月1日からさわやか北摂はNPO法人さわやか北摂とNPO法人さわやか千の里の2本柱になります。千の里は、助け合いを中心に各種事業を含めて新しくスタートしますが、今まで使っていたチケットは廃止し、1か月単位で集計し、銀行か郵便局からの引き落としにさせていただきます。詳しくは別紙にてお知らせ致します。

代表理事 高田憲二



◆◆ 国土交通大臣認定の福祉有償運送 ◆◆

— 川西市における運転者講習を担う —

福祉有償運送運転者講習指定校に

長年の努力が実り、平成29年1月に、国土交通大臣より、同法の運転者講習及びセダン型等の講習者指定校として認可されました。
(高田憲二・現代表)



福祉有償運送

福祉有償運送とは、障がいのある方や、要介護者、病弱者など、地域社会でのバリア（壁）によって、自由な移動を制約されている人々の外出支援を行う活動です。川西市内で福祉有償運送を行っているのは目下当団体のみです。

移送サービスを必要とする人がたくさんいるにも拘わらず、様々な障壁があり、日本では圧倒的に不足しています。このサービスのない地域も多いというのが現状です。

運転講習

福祉有償運送のドライバーは原則として国が制定した講習会を受講しなければなりません。この講習は関係法令に関する講義や障がいの知識、接遇技術や介助技術、福祉自動車の運転方法など、おおむね10時間を2日間に分け受講します。

現在、老若男女を問わず、多くの修了生が、当会が運営する福祉有償運送で活躍され、介護を必要とする高齢者や障がい者の外出の足となり、喜ばれています。ちなみに30年1月～12月迄の移動介助数は6,729回でした。平成29年は22名。平成30年は20名が受講済。

★★ドライバーはまだ不足しています。週のうち少しでも結構です。地域に貢献したいと思われる方は是非ご連絡ください。お待ちしております★★

< ヘルパー定例会開催 >



2019年1月22日『姿勢について』『てんかんについて』をテーマにした定例会を開催しました。今年初めて（平成30年度としては3回目）の定例会に総勢25名のヘルパーさんが参加されました。基本の姿勢から食事時の姿勢・排泄時の姿勢・入浴時の姿勢・褥瘡の予防と寝た時の姿勢、褥瘡のできやすい部位を学びました。具体的な例を挙げ、排泄時の姿勢では、腹圧は座ったほうが上向きに寝た状態より2倍の力がかけられるなど図とクイズを交えながら学びました。

てんかん発作（全身けいれん発作）時の対応、応急手当、周りの人にしてほしいことや質疑応答を交えながら学び、てんかんの正しい知識を身につける勉強会となりました。

サービス提供責任者 増山さおり

社会福祉の発展に顕著な功績表彰

新たな挑戦の礎にし共に進む

～健康福祉情報新聞より抜粋～

兵庫県政150周年地域福祉の推進

兵庫県は、11月20日、「第67回兵庫県社会福祉大会」を開催した。その一環として、県内において永年にわたり、社会福祉の発展に功績を残した人々を称え4人を表彰した。

平成30年、兵庫県は県政150周年を記念したさまざまな取り組みを行っているが、兵庫の未来を創る「を掲げ、地域福祉の更なる推進に向け、全県的な協働の輪を広げる大会」として、第67回兵庫県社会福祉大会を11月20日、川西市で開催。社会福祉の更なる発展をめざすとして、県内で社会福祉の発展に功績があったとして、4人に県知事表彰を行った。



表彰

久恒千里様

あなたは永年にわたり社会福祉施設の健全経営と地域福祉事業の発展に多大な功績を顕え第67回兵庫県社会福祉大会に表彰します。代表としてここに表彰します。

平成30年11月20日

兵庫県 井戸敏三 知事

社会福祉施設関係功労者

＜優良施設功労者＞

社会福祉施設を永年にわたり経営し、利用者の処遇向上に顕著な功績を上げられた方々

林谷文子	和坂福祉会理事長	明石市
久恒千里	さわやかデイサービス施設経営者	川西市
古賀和代	生和会理事長	宝塚市
山野 剛	敬寿会理事長	姫路市

県政150周年記念

兵庫県社会福祉大会で県知事表彰

ひとと社会福祉施設を永年経営し顕著な功績



NPO 法人さわやか北摂
久恒 千里さん

困った時は、「お互いさま」の思いを共有する人たちと、NPO法人を設立、先頭に立って、ひたすら走り続けてきた。要請は次つぎと広がり、今や地域の利用者の間では絶大な信頼を得ている。
四半世紀に至る活動を踏まえ、地域福祉の先頭で更に飛翔の機を待つ。

受賞に当たって

NPO 法人さわやか北摂

久恒 千里

図らずも県知事賞をいただくことになり、驚きますと共に、今後の活動において重責も感じております。
24年前に兵庫県下で初めて、地域の草の根市民活動を立ち上げ、5年後NPO法人に改組、無我夢中でやってきました。ふと振り返ったのが、この度の受賞であったように思います。

数知れない多くの方々のお世話になります。お力添えをいただけて今日があります。困った時はお互いさまの精神で、これから人の尊厳を大切に、共に歩んで行けたらと願っております。感謝を込めて今後の活動のご報告もさせて頂ければと思っております。ありがとうございました。

川西市で福祉施設運営のリーダー

市民生活・社会が複雑になってくると「福祉」という課題もまた、煩雑な状態になってくる。計って定めたような内容では、細やかに人びとの思いに届くような対応はできない。
そこに市民力を集めた福祉サービスの存在が大きくなっていく。
公的なサービスと民間団体の提供するサービスで地域の人たちの求めるニーズには地域の支え合い力が果す役割は大きい。



健康福祉情報新聞

イベント いろいろ



小笠原流茶道初煎会 in デイサービス
岡田八郎氏と久美子夫妻による初煎会が行われ甘くておいしい緑茶をいただきました。お正月が2度来たわねえ〜と大よろこび！



デイ利用者さんに大人気のスナオ君
腹話術士タクボンパパの可愛い人形息子。コンチクワ！の挨拶にどっと笑顔が。タクボンママも新しい手技と歌で締めくくり。また来てね〜と握手せめてでした。



ギターとマンドリンの演奏会
アンサンブルコパンさんによる素晴らしいコンサートを楽しみました。各地で活躍されるお忙しい中お越しいただきました。



フラダンス ラブリーフラ・ラウレア
昨年12月には、キセラ川西の大ホールを借り切って15周年記念のフラダンス発表会を開かれました。多くのファンが集い、盛大でした。さわやかティでもクリスマスフラを楽しみました。ブラボー！の声多く。



♪みんなで一緒に歌いましょう♪
島田さんによる上手なリードでクリスマスソングあり、ポップスあり、童謡や昭和歌謡など、みんなで楽しみました。



市職員さんの研修参加
市役所職員さんによる「参画と協働のまちづくり研修」に今年は女性お2人が2日間来てくださいました。

デイサービス いろいろ



オカリナ演奏会（指導者福田氏）
1番古くからのイベント応援団。唱歌や童謡、いろんなジャンルの曲を演奏していただきました。



ダイナミックなマリンバ演奏（Oさん）
木琴の超大型なマリンバ。初めて見た皆さんは形とそのすばらしい演奏に2度びっくり。ピアノとの共演は尚、心に響きました。



秋のお出かけ・ダム湖周遊
あちこちの紅葉を眺めつつ、一庫公園でひと休みしました。キレイでしたよ。



チャリティバザーは良品・安価で大繁盛！
お似合いよ！よし買うわ！
募金集めで～す。



干し柿作り
大きなしぶ柿は切って干したらたちまち変身！丸のまま干すより早く食べられます。



ザボン
会員さん宅のお庭で毎年実をつけるおりこうさんのザボンです。



さわやかテイはイベントがいっぱい。
秋の紅白運動会もみんな頑張りました。

『視覚障がい者の自立と地域社会への参加をサポート』

同行援護とは、視覚障がいにより移動が著しく困難なご利用者様に対して、外出時に同行して行う移動の援護、代読や代筆、排泄および食事などの介助その他の外出に必要な援助を行い視覚障がい者の自立、地域社会への参加を支援する役割を担います。

この支援を行うには、各種の研修資格が必要です。同行援護には、一般過程と応用過程があり、サービスを実施する際は一般課程を修得する必要があり、応用過程の資格取得者はサービス提供責任者になることができます。（平成30年4月以降責任者は応用過程を修了することが義務づけられています）

さわやか北摂では現在一般課程取得者2名応用過程6名合計8名の取得者が多数在籍しています。新しく入社したスタッフの中には、自ら入社内定が決まったあと、入社時迄に同行援護資格を取得したスタッフも在籍しています。

これからも『視覚障がいの利用者様の気持ちに寄り添う支援』を障害福祉サービスのスタッフ一丸となり行ってまいります。 障害福祉サービス副管理者 増山さおり

<男性ボランティアの出番です>

「さわやかディサービス」の送迎ドライバーとしてお世話になってから、早くも3か月が過ぎようとしています。福祉有償運送のドライバー研修も受けて参加していますが、まだ未熟者と思って、日々努力しています。皆様の安全第一を願って、乗降の際に他の車からも目立つよう派手シャツを着こんでいます。😊

私は数年前にも他のデイ事業所で送迎ドライバーをしていたことがありました。「さわやかさん」に来て見えてきたことがあります。以前の車の中では、なんとなく出かける、と云うような覇気のない人たち・笑い声も少ない高齢者の方が多かったように思いました。ところが「さわやかさん」の車中は、今日1日楽しみましょう！と意欲満々の人が多く、明るい雰囲気笑い声がいっぱいです。私としてはこの方々が安心して乗っていただけるよう気を付けています。皆様から鋭気をもらい、私自身もヘルパー資格の取得に向けて頑張っています。

ドライバースタッフ 谷河正人

基準緩和型訪問サービス

川西市が研修会開催

介護の担い手不足は長い間業界の悩みの種ですが、経験豊かなプロでなくても、少し援助してもらえれば家で暮らせる人々がたくさんおられます。2年前から国は基準緩和型訪問サービスと云う2日間の研修制度を始め、軽い訪問サービスの担い手を増やそうとしています。川西市では30年度の第2回目の研修会を1月17～18日に31名の参加で行いました。修了者は要支援1と2、および事業対象者に対する家事援助をすることができます。18日の研修終了後に事業者との懇談会があり、当方から高田・久恒の2名が出席しました。主に助け合い活動や軽い訪問サービスについて懇談し、互いに理解を深めました。



渡辺和子（さわやか千の里運営スタッフ）
まだまだ不慣れではありますが、一日も早く皆様のお役に立てるよう努力してまいります。



加藤洋二（障がい・サービス提供責任者）
利用者様や家族様に信頼して頂けるよう、日々の仕事に取り組んでまいります。

新スタッフ紹介

活動実績

	たすけあい活動 (件)	訪問介護 (件)	障がい者支援 (件)	水明台デイ (延べ人数)
H30.10月	918	1,295	544	394
11月	826	1,253	513	365
12月	740	1,181	499	364

震災支援金のご報告 No. 9

昨年は次々に自然災害に見舞われた年でした。24年前の阪神・淡路大震災でお世話になった方々が北海道を訪ねて支援され、「日本に美談」として世界のメディアが注目しました。日本人としての絆の素晴らしさだと。NPO団体としては、せめてボランティアに行ってくださいる人のお役に立てたらと、来月で丸8年間にわたり、募金活動に励みました。



近頃はチャリティバザーより、ネット販売に力を入れて、より広い世間の人から知ってもらおう活動を展開しています。日本財団さんを通じて現在迄に250万円を贈りましたが、より早い復興を願って今後も支援活動に力を入れて参ります。ご協力をお願いいたします。

福祉ネットワーク会議に出席

ーグリーンハイツ地区福祉委員会の福祉計画案を検討ー

1月28日、第2自治会館に於いて「地域に根付いた福祉の街づくり」について、参加者30余名で検討会が開かれ、自治会、コミュニティ、社協を始めPTAや民生委員、当方も加わり、高齢化した街の諸問題を話し合った。3グループの共通の課題は、社協主催のデイサービスの閉鎖に伴う広い会館のスペースを有効に使うことに異論はなく、殊の外子供を中心とした居場所作りが中心であった。勿論若男女が混ざった居場所が尚良し！と結論が出され、今後の進行が楽しみである。



馬淵さんのカボチャをスタッフがハロウィンカボチャに変身！



大きな無農薬白菜を差し入れて頂きました。

<さわやか千の里のご支援者>

佐野隆二郎様 岡田八良様 岡田久美子様 上野瞳様
山田龍三澄子様 内海功子様 二森ふみ子様 原田てるみ様
前川尚志様 大島一晃様 上殿希世子様 久恒千里様 高田憲二様

<さわやか北摂の応援団>

馬淵英男様 岡崎言一民子様 藤原昌様 大坪俊子様 徳島季美子様
中村鈴子様 田邊徳行様 藤川啓弘様 坂木孝子様 野呂山京子様
梶原幸一様 樋口安子様 熊田孝子様 西田紘子様 吉村洋子様
板井繁典様 今田博隆様 中谷雄吉様